

三種監発 - 29

平成24年8月31日

三種町長 三浦正隆 様

三種町監査委員 神馬 均

三種町監査委員 加藤 彦次郎

平成23年度三種町一般会計・特別会計・水道事業会計決算  
並びに基金運用状況審査意見書について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項並びに地方公営  
企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、平成23年度三種町  
一般会計・特別会計・水道事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める  
書類、各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、次のとおり意見  
を付します。

# 平成23年度三種町一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する審査意見書

## 第1. 審査の概要

### 1. 審査の対象

平成23年度三種町一般会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町土地取得特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町衛生処理事業特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町温泉事業特別会計歳入歳出決算  
平成23年度三種町国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算  
平成23年度財産に関する調書及び地方債現在高に関する調書並びに債務負担行為に関する調書

### 2. 審査の期間

平成24年7月25日から8月8日まで

※ 実施日 7月25・26・27・30・31日

8月1・2・3・6・7・8日（11日間）

### 3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成23年度三種町一般会計・特別会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、地方自治法、同法施行規則、その他関係法令に準拠して調製されているか、その内容及び計数が関係諸帳簿、証拠書類と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

## 第2. 審査の結果

審査に付された三種町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、誤りがないものと認めた。

## 1. 総括

### (1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算は、次のとおりである。

表A (単位：千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
予 算 現 額	11,693,244	6,281,579	17,974,823
決 算 額			
歳 入 額	11,393,039	6,315,766	17,708,805
歳 出 額	11,185,979	6,055,661	17,241,640
歳入歳出差引額	207,060	260,105	467,165

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

表B (単位：千円)

区 分	平成23年度	平成22年度	増 減 額	増 減 率
歳 入 額	17,708,805	17,795,673	△86,868	△0.5%
歳 出 額	17,241,640	17,278,480	△36,840	△0.2%
差引増減	467,165	517,192	△50,027	△9.7%

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

決算額規模を前年度と比較すると、表Bのとおり歳入は0.5%の減、歳出は0.2%の減、差引残額は9.7%の減となり、全て下回った。

### (2) 決算収支

総計決算における歳入歳出差引額は、467,165千円の黒字となっているが、翌年度へ繰り越しすべき財源25,288千円が含まれており、これを差引いた441,877千円が実質剰余金となっている。

この実質収支を前年度(348,520千円)と比較すると93,357千円(26.8%)の増となっている。

### (3) 予算の執行状況

歳入決算額17,708,805千円は、総予算額17,974,823千円に対し、266,018千円の減収で、収入率は98.5%となっている。また、調定額18,219,896千円に対する収入率は97.2%(前年度97.2%)となっている。

歳出決算額17,241,640千円は、総予算額に対し95.9%(前年度94.3%)の執行率である。また、467,165千円を翌年度へ繰り越しし、不用額は394,139千円(前年度367,145千円)となっている。

(4) 財政構造

財政構造について、地方財政状況調査表（普通会計決算）によって分析すると次のとおりである。

① 歳入の構成

自主財源と依存財源の構成比をみると、次表のとおり自主財源の構成割合は21.5%で、前年度より1.2ポイント減少した。

(単位：千円、%)

区 分	平成 23 年度		平成 22 年度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
自主財源	2,445,458	21.5	2,520,699	22.7
依存財源	8,949,528	78.5	8,559,770	77.3
計	11,394,986	100.0	11,080,469	100.0

自主財源は、町税 1,387,988 千円、使用料・手数料 147,865 千円、諸収入 351,064 千円などである。

依存財源は、地方交付税 5,563,777 千円、国庫支出金 933,577 千円、県支出金 894,185 千円などである。

② 歳出の構成

歳出の決算額を性質別に分類し、前年度と対比して示すと次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	年 度	平成 23 年度		平成 22 年度		対 前 年 比		
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	増減率	
義務的経費	人件費	1,754,635	15.7	1,769,055	16.4	△ 14,420	△ 0.8	
	扶助費	994,857	8.9	968,101	9.0	26,756	2.7	
	公債費	1,544,002	13.8	1,664,770	15.5	△ 120,768	△ 7.8	
計		4,293,494	38.4	4,401,926	40.9	△ 108,432	△ 2.5	
投資的経費	普通建設事業費	1,351,558	12.1	835,663	7.8	515,895	38.2	
	内	補助	358,561	3.2	462,674	4.3	△ 104,113	△ 29.0
		単独	950,139	8.5	295,589	2.7	654,550	68.9
	災害復旧事業費	102,874	0.9	80,158	0.7	22,716	22.1	
計		1,454,432	13.0	915,821	8.5	538,611	37.0	
その他の経費	物件費	1,447,210	12.9	1,335,991	12.4	111,219	7.7	
	補助費等	1,399,456	12.5	1,321,403	12.3	78,053	5.6	
	その他	2,591,485	23.2	2,792,910	25.9	△ 201,425	△ 7.7	
計		5,438,151	48.6	5,450,304	50.6	△ 12,153	△ 0.2	
合 計		11,186,077	100.0	10,768,051	100.0	418,026	3.7	

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

義務的経費 4,293,494 千円は、前年度と比べ 108,432 千円（2.5%）の減となっている。

投資的経費 1,454,432 千円は、前年度と比べ 538,611 千円（37.0%）の増となっている。

その他経費 5,438,151 千円は、前年度と比べ 12,153 千円（0.2%）の減となっており、合計では 418,026 千円（3.7%）の増となっている。

### ③ 財政分析

健全な財政運営の要件とされる普通会計における主な財務比率の年度別推移は、次のとおりである。

区分 \ 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
財政力指数	0.28	0.27	0.26
経常収支比率	89.1%	81.5%	83.4%
経常一般財源比率	92.1%	91.8%	93.8%

※ 指数の算定にあたっては、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を含む。

- 財政力指数 … 指数が大きければ税収が豊かなことを示し、1 以下であれば、税収不足を示している。  
前年に比べ 0.01 ポイント低下し、0.26 となっている。
- 経常収支比率 … 財政構造の弾力性の指標として用いられ、通常 75% 程度に収まることが望ましいとされている。  
前年比に比べ 1.9 ポイント低下し、83.4% となっている。
- 経常一般財源比率 … 標準財政規模に対する経常一般財源の割合。この比率は、100 を超える度合いが高いほど経常一般財源に余裕があり、したがって歳入構造に弾力性があることが示される。  
前年度に比べ 2.0 ポイント改善され 93.8% となっている。

### (5) 町債の状況

町債の状況は次表のとおりで、当年度末の残高は 20,576,931 千円であり、前年度末に比べ 492,308 千円減少している。

(単位：千円)

区 分	22 年度末 残 高	平成 23 年度中		23 年度末 残 高	
		発行額	償還額		
一 般 会 計	11,358,419	1,208,200	1,375,647	11,190,972	
特 別 会 計	簡易水道事業	1,596,847	58,300	181,184	1,473,963
	公共下水道事業	5,960,636	160,900	337,375	5,784,161
	農業集落排水事業	1,338,632	52,800	54,194	1,337,238
	土地取得	6,740	—	6,740	0
	介護保険事業	—	40,000	—	40,000
	計	8,902,855	312,000	579,493	8,635,362
水道事業会計	807,965	—	57,368	750,597	
合 計	21,069,239	1,520,200	2,012,508	20,576,931	

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

23年度末残高を、24年7月末現在の住基台帳(19,048人)をもとに勘案すると、

人口1人当たり町債残高 587,514円(一般会計)  
 // 1,080,267円(特別会計、水道会計含む)

(6) 債務負担行為の状況

(単位：千円)

区 分	限度額	支 出 状 況			翌年度以降 支出予定額	
		22年度まで	平成23年度	不用額		
一 般	2,048,263	1,416,606	297,837	69,857	263,964	
特 別 会 計	簡水	48	24	24	0	0
	下水	1,866	1,387	317	0	162
	計	1,914	1,411	341	0	162
合 計	2,050,177	1,418,017	298,178	69,857	264,126	

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

翌年度以降支出予定額264,126千円は、22年度597,036千円と比べ332,910千円、率にして55.8%減少している。

これは、「用地造成事業」等の繰上償還や、「小町房住線改良工事」の終了によるものである。

## 2. 一般会計

平成23年度の決算状況は、歳入 11,393,039 千円、歳出 11,185,979 千円、歳入歳出差引残高 207,060 千円である。

差引残高のうち、翌年度に繰り越すべき財源 22,850 千円が含まれており、これを差し引いた 184,210 千円が実質剰余金となる。

### ① 歳入の状況

歳入予算のうち、町税の歳入状況は次表のとおりである。

(単位：千円、%)

	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
町 民 税	425,412	495,367	435,116	5,818	54,434	87.8
個人	386,845	453,850	396,005	5,466	52,379	87.2
法人	38,567	41,517	39,111	352	2,055	94.2
固定資産税	753,337	931,115	756,552	24,194	150,370	81.3
軽自動車税	47,159	52,226	47,583	679	3,964	91.1
たばこ税	104,655	105,198	105,198	0	0	100.0
特別土地保有税	1	0	0	0	0	0
入湯税	43,361	43,539	43,539	0	0	100.0
計	1,373,925	1,627,447	1,387,988	30,690	208,768	85.3
※前年度	1,411,978	1,652,793	1,414,907	22,023	215,863	85.6

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

歳入について、予算現額 1,373,925 千円、調定額 1,627,447 千円に対し、収入済額 1,387,988 千円で、予算額に対しての収入率が 101.0%、調定額に対しての収入率は 85.3%となっており、前年度 85.6%と比べ 0.3 ポイント落ち込んでいる。

不納欠損額は 30,690 千円で、前年度と比べ 8,667 千円増加した。これは生活困窮者や所在不明者など、徴収困難でやむを得ないものと報告を受けている。

収入未済額は 208,768 千円で、前年度と比べ 7,095 千円減少した。

### ② 歳出の状況

歳出予算の執行状況は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額
予 算 現 額	11,693,244	11,612,598	80,646
支 出 済 額	11,185,979	10,771,828	414,151
繰 越 明 許 額	334,057	669,522	△ 335,465
不 用 額	173,208	171,249	1,959
予 算 執 行 率	95.7	92.8	2.9

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

予算の執行については、予算現額 11,693,244 千円に対し、支出済額 11,185,979 千円で、予算執行率は 95.7%となっている。また、不用額は 173,208 千円である。

### 3. 特別会計

平成23年度各特別会計の歳入総額は6,315,766千円、歳出総額が6,055,661千円で、差引残高260,105千円となっている。

なお、各特別会計に町の一般会計より繰り入れした総額は1,010,009千円（前年度1,078,643千円）となっている。

各特別会計の状況は、次表のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	歳 入	歳 出	差 引 残 高	歳 出 執 行 率	一般会計からの繰入金
国民健康保険	2,683,403	2,462,588	220,815	93.1	213,338
後期高齢者医療	160,271	159,281	990	98.9	74,110
簡易水道	296,365	286,056	10,309	97.9	71,905
下水道	578,484	577,368	1,116	99.5	272,610
農業集落排水	203,257	201,500	1,757	99.0	28,183
土地取得	6,861	6,861	0	100.0	6,861
介護保険	2,309,163	2,285,644	23,519	98.8	315,793
介護サービス	28,639	26,979	1,660	90.7	968
衛生処理	21,067	19,218	1,849	91.2	16,332
温泉	28,258	30,171	△ 1,913	98.1	9,909
国保診療所	0	0	0	—	0
計	6,315,766	6,055,661	260,105	96.4	1,010,009

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

#### (1) 三種町国民健康保険事業勘定特別会計

歳入総額2,683,403千円、歳出総額2,462,588千円、差引残高220,815千円が翌年度に繰り越しとなる。

国民健康保険税の収納状況は、調定額565,105千円に対し、収入済額は437,536千円で、収納率は77.4%（前年度77.9%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め107,553千円で、前年度と比べ9,831千円減少している。

不納欠損額は、20,016千円で前年度より715千円増えている。その内容は、所在不明者や生活困窮者など徴収困難でやむを得ないものと報告を受けている。

歳出については、予算現額2,643,952千円に対し、支出済額2,462,588千円で、執行率93.1%（前年度94.1%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より213,338千円（前年度208,830千円）が繰り入れられている。

#### (2) 三種町後期高齢者医療特別会計

歳入総額160,270千円、歳出総額159,280千円、差引残高990千円が翌年度に繰り越しとなる。

保険料（普通徴収）の収納状況は、調定額86,514千円に対し、収入済額は85,170千円で、収納率は98.4%（前年度98.6%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め1,108千円で、前年度より8千円増加している。

不納欠損額は236千円で前年度より150千円増えている。



歳出については、予算現額 161,083 千円に対し、支出済額 159,280 千円で、執行率 98.9%（前年度 99.2%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 74,110 千円（前年度 70,567 千円）が繰り入れられている。

### （３）三種町簡易水道事業特別会計

歳入総額 296,365 千円、歳出総額 286,056 千円、差引残高 10,309 千円が翌年度に繰り越しとなる。

使用料の収納状況は、調定額 152,410 千円に対し、収入済額が 149,227 千円で、収納率は 97.9%（前年度 97.7%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め 3,183 千円で、前年度より 68 千円減少している。

歳出については、予算現額 292,285 千円に対し、支出済額 286,055 千円で、執行率 97.9%（前年度 98.3%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 71,905 千円（前年度 109,190 千円）が繰り入れられている。

### （４）三種町公共下水道事業特別会計

歳入総額 578,484 千円、歳出総額 577,368 千円、差引残高 1,116 千円のうち、翌年度に繰り越すべき財源 88 千円が含まれており、これを差し引いた 1,028 千円が翌年度に繰り越しとなる。

使用料及び分担金の収納状況は、調定額 222,613 千円に対し、収入済額が 143,177 千円で、収納率は使用料で 75.9%（前年度 76.9%）、分担金 21.6%（前年度 21.0%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め使用料が 41,968 千円で、前年度と比べ 2,995 千円増加。分担金は 37,467 千円で、前年度と比べ 2,101 千円減少している。

歳出については、予算現額 580,303 千円に対し、支出済額 577,368 千円で、執行率 99.5%（前年度 97.6%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 272,610 千円（前年度 273,703 千円）が繰り入れられている。

### （５）三種町農業集落排水事業特別会計

歳入総額 203,257 千円、歳出総額 201,499 千円、差引残高 1,757 千円が翌年度に繰り越しとなる。

使用料及び分担金の収納状況は、調定額 41,001 千円に対し、収入済額が 34,277 千円で、収納率は使用料で 99.1%（前年度 96.5%）、分担金で 74.7%（前年度 0.0%）となっている。

収入未済額は、過年度分も含め使用料が 607 千円、分担金 6,117 千円で、前年度と比べ使用料で 63 千円、分担金で 833 千円、共に増加している。

歳出については、予算現額 203,480 千円に対し、支出済額 201,499 千円で、執行率 99.0%（前年度 99.2%）となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 28,103 千円（前年度 62,865 千円）が繰り入れられている。

### （６）三種町土地取得事業特別会計

歳入総額 6,861 千円、歳出総額 6,861 千円、差引残高 0 円となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 6,861 千円（前年度 7,016 千円）が繰り入れられている。

(7) 三種町介護保険事業勘定特別会計

歳入総額 2,309,163 千円、歳出総額 2,285,643 千円、差引残高 23,519 千円のうち、翌年度に繰り越されるべき財源 2,350 千円が含まれており、これを差し引いた 21,169 千円が翌年度に繰り越しとなる。

介護保険料の収納状況は、調定額 309,407 千円に対し、収入済額が 301,583 千円で、収納率は 97.5% (前年度 97.6%) となっている。

収入未済額は、過年度分も含め 5,612 千円となっており、前年度と比べ 49 千円増えている。

不納欠損額は 2,211 千円で、前年度より 292 千円増えている。

歳出については、予算現額 2,312,068 千円に対し、支出済額 2,285,643 千円で、執行率 98.8% (前年度 99.1%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 315,793 千円 (前年度 298,810 千円) が繰り入れられている。

(8) 三種町介護サービス事業勘定特別会計

歳入総額 28,639 千円、歳出総額 26,978 千円、差引残高 1,661 千円は翌年度に繰り越しとなる。

歳出については、予算現額 29,727 千円に対し、支出済額 26,978 千円で、執行率 90.7% (前年度 94.2%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 968 千円 (前年度 14 千円) が繰り入れられている。

(9) 三種町衛生処理事業特別会計

歳入総額 21,067 千円、歳出総額 19,217 千円、差引残高 1,850 千円は翌年度に繰り越しとなる。

使用料の収納状況は、調定額 3,193 千円に対し、収入済額が 3,193 千円で、収納率は 100.0% (前年度 100.0%) となっている。

歳出については、予算現額 21,059 千円に対し、支出済額 19,217 千円で、執行率 91.2% (前年度 94.2%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 16,332 千円 (前年度 15,674 千円) が繰り入れられている。

(10) 三種町温泉事業特別会計

歳入総額 28,258 千円、歳出総額 30,171 千円で、差引 1,913 千円の赤字となった。このため、翌年度の歳入から繰上げ充用して補てんした。

温泉使用料の収納状況は、調定額 30,051 千円に対し収入済額が 18,290 千円で、収納率は 60.9% (前年度 62.7%) となっている。

現年度分に限って見ると、調定額 19,465 千円に対し収入済額が 17,842 千円で、1,623 千円の未済額が発生している。

温泉使用料の収入未済額は、過年度分も含め 11,761 千円で、前年度と比べ 1,175 千円増加している。

歳出については、予算現額 30,759 千円に対し、支出済額 30,171 千円で、執行率 98.1% (前年度 79.2%) となっている。

なお、この特別会計には、町の一般会計より 9,909 千円 (前年度は 0 円) が繰り入れられている。

- (11) 三種町国民健康保険診療施設勘定特別会計  
平成23年度は歳入、歳出ともない。

以上、各特別会計とも予算執行は、適正に行われたものと認めた。

## 平成23年度三種町基金運用状況に関する審査意見書

### 第1. 審査の概要

#### 1. 審査の対象

漁業振興基金、高額療養費資金貸付基金、奨学資金貸付基金

#### 2. 審査の期間

平成24年7月25日から8月8日まで

※ 実施日 8月8日（1日間）

#### 3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成23年度の各基金の運用状況を示す書類について、その内容及び計数が関係諸帳等と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

### 第2. 審査の結果

審査に付された平成23年度の各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係諸帳簿等と符合した結果、誤りがないものと認めた。また、各基金の運用状況は妥当であると認めた。

以下、その概要を報告する。

#### (1) 漁業振興基金

この基金は、町内の漁業振興のために行われる公共事業又は公共的事業において、漁業団体又は漁業者に対し義務的に課せられる分担金の資金として町が行う貸し付けの源資として運用される資金に充てるために設置されたもので、基金額700万円で運用されている。

なお、当年度の運用はない。

#### (2) 高額療養費資金貸付基金

この基金は、法令に基づく高額療養費支給制度の適用を受ける者で、医療費の支払が困難なものに対して資金を貸し付けることにより、経済的負担を緩和し、民生の安定を図るために設置されたもので、基金額200万円で運用されている。

なお、当年度は1件（54,000円）の運用があった。

#### (3) 奨学資金貸付基金

この基金は、本町に住所を有する修学者又は入学のために住所変更した修学者に対し奨学資金を貸し付けすることにより向学心を振起し、もって三種町教育の振興を図るために設置されたもので、当年度は105,577,686円で運用された。（基金額は1億5千万円以内としている）

年度中の貸付額は9,960,000円、対象人数は29人となっており、過年度も含めた年度中の償還額は12,008,000円、対象人数は110人となっている。

また、今年度末の未償還額は7,827千円であり、年々増加している。（資料1参照）

決算年度末残高は105,579,744円となっており、当初と比べると2,058円増えているが、これは基金の運用で生じた利子分である。

## (4) 各基金の状況

平成23年度三種町各基金の運用状況は、次のとおりである。

(単位:円)

基金の名称	前年度末 現在高	年度中増減額			決算年度末 現在高	決算年度末現在管理状況		
		現金	債権	貸付金		現金	債権	貸付金
財政調整基金	1,681,166,497	961,003,921	△ 350,021,000	0	2,292,149,418	1,514,734,418	777,415,000	0
減債基金	1,131,736	337	0	0	1,132,073	1,132,073	0	0
ふるさと元気づくり基金	1,816,041	70,000	160,000	0	2,046,041	1,816,041	230,000	0
住民生活に光をそそぐ基金	42,388,000	△ 19,977,006	△ 4,709,477	0	17,701,517	22,410,994	△ 4,709,477	0
漁業振興基金	7,000,000	0	0	0	7,000,000	7,000,000	0	0
合併振興基金	0	0	230,000,000	0	230,000,000	0	230,000,000	0
国民健康保険事業財政調整基金	42,628	8	0	0	42,636	42,636	0	0
農業集落排水事業財政調整基金	43,024,076	44,815,452	△ 22,300,000	0	65,539,528	65,539,528	0	0
介護給付費準備基金	5,206,699	2,214	△ 5,000,710	0	208,203	208,203	0	0
介護従事者処遇改善臨時特例基金	4,418,335	△ 4,418,335	0	0	0	0	0	0
温泉事業財政調整基金	3,554,549	1,051	0	0	3,555,600	3,555,600	0	0
高額療養費資金貸付基金	2,000,000	±0	0	±0	2,000,000	2,000,000	0	0
奨学資金貸付基金	105,577,686	2,050,058	0	△ 2,048,000	105,579,744	12,558,744	0	93,021,000
合計	1,897,326,247	983,547,700	△ 151,871,187	△ 2,048,000	2,726,954,760	1,630,998,237	1,002,935,523	93,021,000

13 基金

## 平成23年度三種町水道事業会計決算審査意見書

### 第1. 審査の概要

#### 1. 審査の対象

平成23年度三種町水道事業会計決算

#### 2. 審査の期間

平成24年7月25日から8月8日まで

※実施日 8月3日（1日間）

#### 3. 審査の方法

この審査にあたっては、町長から審査に付された平成23年度三種町水道事業会計決算報告書、財務諸表及び附属明細書、事業報告書、資産に関する調書について、関係法令に準拠して調製されているか、その内容及び計数が関係諸帳簿、証拠書類と符合しかつ適正であるかについて、関係職員の説明を聴取して実施した。

### 第2. 審査の結果

審査に付された三種町水道事業会計決算報告書、財務諸表及び附属明細書、事業報告書、資産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつ決算書に計上されている諸計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と符合し、誤りがないものと認めた。

以下、その概要を報告する。

1. 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

(単位：千円、%)

科 目	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
営業収益	85,930	85,555	78,872	6,683	92.2
1. 給水収益	81,297	81,312	78,165	3,147	96.1
2. 受託給水工事収益	1	0	0	0	—
3. その他営業収益	4,632	4,243	707	3,536	16.7
営業外収益	57,556	58,590	57,532	1,058	98.2
1. 受取利息及び配当金	40	37	37	0	100.0
2. 一般会計補助金	57,346	57,345	57,345	0	100.0
3. 加入金	168	150	150	0	100.0
4. 雑収益	2	1,058	0	1,058	0.0
特別収益	2	11	11	0	100.0
1. 特別資産売却益	1	0	0	0	—
2. 過年度損益修正益	1	11	11	0	100.0
3. その他特別利益	0	0	0	0	—
合 計	143,488	144,156	136,415	7,741	94.6

(収益的支出)

(単位：千円、%)

科 目	予算現額	支出済額	不用額	執行率
営業費用	104,854	103,504	1,350	98.7
1. 原水費及び浄水費	25,528	25,271	257	99.0
2. 配水及び給水費	5,463	4,735	728	86.7
3. 総係費	20,550	20,188	362	98.2
4. 減価償却費	53,093	53,092	1	100.0
5. 受託給水工事費	1	0	1	—
6. 資産減耗費	219	218	1	99.5
営業外費用	46,977	46,926	51	99.9
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	45,303	45,302	1	100.0
2. 雑支出	50	0	50	—
3. 消費税	1,624	1,624	0	100.0
特別損失	51	16	35	31.4
1. 固定資産売却損	1	0	1	—
2. 過年度損益修正損	50	16	34	32.0
予備費	55	0	55	—
1. 予備費	55	0	55	—
合 計	151,937	150,446	1,491	99.0

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

## (2) 損益計算書の比較

(単位：千円)

科 目	平成23年度		平成22年度		差引増減
営業収益					
1. 給水収益	77,440		78,303		
2. 受託給水工事収益	0		0		
3. その他営業収益	4,057	81,497	3,695	81,998	△ 501
営業費用					
1. 原水費及び浄水費	24,070		19,638		
2. 配水及び給水費	4,510		3,718		
3. 受託工事費	0		0		
4. 総係費	19,764		21,562		
5. 減価償却費	53,092		66,669		
6. 資産減耗費	218	101,654	377	111,964	△ 10,310
営業利益	△ 20,157		△ 29,966		9,809
営業外収益					
1. 受取利息及び配当金	37		71		
2. 一般会計補助金	57,345		55,284		
3. 加入金	150		254		
4. 雑収益	1,058	58,590	0	55,609	2,981
営業外費用					
1. 支払利息及び企業債取扱諸費	45,302		48,462		
2. 雑支出	0	45,302	0	48,462	△ 3,160
経常収益	△ 6,869		△ 22,819		15,950
特別利益					
1. 固定資産売却益	0		0		
2. 過年度損益修正益	11	11	0	0	11
特別損失					
1. 固定資産売却損	0		0		
2. 過年度損益修正損	15	15	21	21	△ 6
当期純利益	△ 6,873		△ 22,840		15,967

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。



## (3) 貸借対照表の比較

(単位：千円)

科 目	平成23年度		平成22年度		差引増減
(資産の部)					
固定資産					
(1)有形固定資産					
1. 土地	105,703		105,703		
2. 建物	180,520		130,017		
3. 構築物	1,601,728		1,539,089		
4. 機械及び装置	174,341		340,758		
5. 車輛運搬具	8,955		8,955		
6. 建設仮勘定	0	2,071,247	0	2,124,522	△ 53,275
(2)無形固定資産					
1. 電話加入権	144	144	144	144	0
(3)投資					
1. 預託金	39	39	39	39	0
固定資産合計		2,071,430		2,124,705	△ 53,275
流動資産					
(1)現金預金	182,432	182,432	166,260	166,260	16,172
(2)未収金	26,867	26,867	42,018	42,018	△ 15,151
(3)貯蔵品	0	0	0	0	0
流動資産合計		209,299		208,278	1,021
繰延勘定					
繰延勘定合計		0		0	0
資産の部合計		2,280,729		2,332,983	△ 52,254
(負債の部)					
固定負債					
(1)企業債	0	0	0	0	0
固定負債合計		0		0	0
流動負債					
(1)一時借入金	0	0	0	0	0
(2)未払金	4,631	4,631	4,325	4,325	306
(3)未払費用	0	0	0	0	0
(4)その他流動負債	46,614	46,614	41,790	41,790	4,824
流動負債合計		51,245		46,115	5,130
負債の部合計		51,245		46,115	5,130
(資本の部)					
資本金					
(1)自己資本金		514,863		504,783	10,080
(2)借入資本金					
1. 企業債	750,597	750,597	807,965	807,965	△ 57,368
資本金合計		1,265,460		1,312,748	△ 47,288
剰余金					
(1)資本剰余金					
1. 受贈財産評価額	597		597		
2. 工事負担金	0		0		
3. 国庫補助金	792,475		795,699		
4. 一般会計補助金	146,679		146,679		
5. 一般会計負担金	13,008		13,008		
6. その他資本剰余金	20,949	973,708	20,949	976,932	△ 3,224
(2)利益剰余金					
1. 減債積立金	15,000		15,000		
2. 利益積立金	0		0		
3. 当年度純利益	△ 6,873		△ 22,840		
4. 前年度繰越利益	△ 17,811	△ 9,684	5,029	△ 2,811	△ 6,873
剰余金合計		964,024		974,121	△ 10,097
資本の部合計		2,229,484		2,286,869	△ 57,385
負債・資本合計		2,280,729		2,332,984	△ 52,255

※金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

## 2. 個別意見

### (1) 収益的収入及び支出

調定額144,156千円（税抜調定額140,098千円）、支出済額150,446千円（税抜支出金額146,971千円）、差引6,873千円の赤字となった。前年度からの繰越損失17,811千円（税抜）と併せ当期の未処分利益は24,684千円の赤字繰越となる。

営業収入の水道料金は、調定額81,312千円（税込）に対し、収入済額は78,165千円（税込）で、3,147千円（税込）の収入未済額となっている。

支出については、予算現額151,937千円（税込）に対し、支出済額150,446千円（税込）で、執行率は99.0%（前年度95.7%）となっている。

### (2) 損益計算書の比較

収入の給水収益（水道料）77,440千円で、前年度78,303千円と比べ863千円落ち込んでいる。しかし、他の営業利益（事務委託料等）で364千円増えている。また、営業外収入で2,981千円増えており、収入合計で前年度より2,480千円増えている。

支出では、営業費用101,654千円は、前年と比較し10,310千円の経費の減であった（うち原価償却費の減少13,577千円）。また、営業外費用の支払利息も前年度に比べ3,160千円の経費の減であった。これは、企業債を低金利のものに借替えしたことによる。

よって、23年の単年度では6,873千円の赤字額である。

### (3) 貸借対照表の比較

固定資産は減価償却費相当分の53,275千円減少している。流動資産は現金預金が16,172千円増えたが未収金は15,151千円減少している。ただし、未収金のうち水道料金の現年度分3,147千円、過年度分16,700千円、併せて19,847千円と延滞金が3,485千円含まれている。

企業債は750,597千円で、前年度807,965千円と比べ57,368千円減少している。

○ 決算を通しての意見（むすび）

収入未済額については、運用基金・水道事業会計を含めると別添未済額集計表（資料1）のとおり489,096,466円となっており、昨年度よりも9,091,211円減少している。

住宅使用料や給食費で改善が見られるものの、下水道使用料、温泉使用料、奨学金、水道料金等の未納額は増加の一途である。

また、時効等により不納欠損した金額は別添不納欠損額比較表（資料2）のとおり53,153,098円であるが、昨年度よりも9,100,307円多く処理されており、合併後の6年間では296,817,481円にのぼる。

収納環境が年々厳しさを増す状況にあるが、苦しい中でも義務を果たしている納税者などとの公平性からも、貴重な自主財源の確保という点からも、あらゆる方法を駆使し収入未済額の減少及び不納欠損金の減少に努めるよう強く要望する。

特に今年度赤字決算に至った「温泉特別会計」について、赤字の要因は歳入欠陥のため発生したものであり、徹底した使用料等の徴収に努められたい。

また、「水道会計」においては、企業債を低金利のものに借換え、利息の軽減対策を講ずるなど、企業会計の健全化に向けた努力は評価するところである。

基金総額は前年度と比べ約8億3千万円増加し、町債は前年度と比べ約4億9千万円減少するなど係数的には良化している。

しかしながら、地方交付税等の依存財源の比率が高いため、安定した財政運営のための自主財源確保や事務事業全般に亘るコスト削減を図るなど、なお一層財政の健全化に取り組むことを期待する。

## 収入未済額集計表

(単位：円)

項目	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<b>一般会計</b>	<b>225,619,872</b>	<b>235,035,350</b>	<b>227,529,674</b>
町民税 個人	47,783,523	53,659,142	52,378,593
町民税 法人	1,621,300	2,215,200	2,055,400
固定資産税	151,077,662	155,745,677	150,369,801
軽自動車税	4,478,500	4,242,800	3,964,500
農地災害復旧費分担金	1,661,537	1,661,537	1,661,537
養護老人ホーム入所負担金	333,545	333,545	333,545
保育所負担金	2,354,568	2,439,488	2,968,738
町営住宅使用料	6,273,800	5,307,500	5,055,155
デイサービス等利用手数料	17,300	17,300	17,300
延滞金	685,820	0	0
住宅整備資金貸付金	1,386,152	1,300,511	1,271,364
災害援護資金貸付金	999,400	969,400	924,400
給食費負担金	6,935,765	7,134,695	6,390,841
児童クラブ登録料	11,000	6,000	5,500
八竜商工会電気料	0	2,555	0
地デジ対応CATV分担金	0	0	133,000
<b>国民健康保険事業特別会計</b>	<b>122,905,109</b>	<b>117,383,615</b>	<b>107,552,611</b>
一般国民健康保険税 医療費	92,913,620	86,145,666	78,275,302
一般国民健康保険税 介護費	14,040,999	13,288,116	11,280,722
一般国民健康保険税 支援費	9,466,919	11,624,772	13,518,639
退職国民健康保険税 医療費	5,171,345	4,997,395	3,343,286
退職国民健康保険税 介護費	859,569	784,578	613,953
退職国民健康保険税 支援費	414,757	543,088	520,709
延滞金	37,900	0	0
<b>後期高齢者医療特別会計</b>	<b>979,600</b>	<b>1,100,500</b>	<b>1,108,400</b>
普通徴収保険料	979,600	1,100,500	1,108,400
<b>簡易水道事業特別会計</b>	<b>4,372,330</b>	<b>3,250,940</b>	<b>3,182,780</b>
水道使用料	4,372,330	3,250,940	3,182,780
<b>公共下水道事業特別会計</b>	<b>81,865,163</b>	<b>86,098,533</b>	<b>87,618,113</b>
下水道分担金	37,603,280	39,568,440	37,467,570
下水道使用料	36,704,983	38,973,193	41,967,643
延滞金	7,556,900	7,556,900	8,182,900
<b>農業集落排水事業特別会計</b>	<b>5,812,590</b>	<b>5,827,290</b>	<b>6,723,980</b>
農業集落排水分担金	5,283,600	5,283,600	6,117,000
農業集落排水使用料	528,990	543,690	606,980
<b>介護保険事業特別会計</b>	<b>5,163,654</b>	<b>5,563,236</b>	<b>5,612,175</b>
普通徴収保険料	5,163,654	5,563,236	5,612,175
<b>温泉事業特別会計</b>	<b>14,611,960</b>	<b>16,783,620</b>	<b>18,610,090</b>
温泉使用料	8,414,160	10,585,820	11,761,190
延滞金	6,197,800	6,197,800	6,848,900
<b>小計①</b>	<b>461,330,278</b>	<b>471,043,084</b>	<b>457,937,823</b>
<b>運用基金</b>	<b>5,134,000</b>	<b>6,257,000</b>	<b>7,827,000</b>
奨学貸付基金貸付金	5,134,000	6,257,000	7,827,000
<b>水道事業会計</b>	<b>21,055,743</b>	<b>20,887,593</b>	<b>23,331,643</b>
水道料金	18,629,143	18,460,993	19,846,643
延滞金	2,426,600	2,426,600	3,485,000
<b>小計②</b>	<b>26,189,743</b>	<b>27,144,593</b>	<b>31,158,643</b>
<b>合計 (小計①+②)</b>	<b>487,520,021</b>	<b>498,187,677</b>	<b>489,096,466</b>

(三種町監査委員)

## 資料2

## 不納欠損額比較表

(単位：円)

区 分	平成22年度	平成23年度
<b>一般会計</b>	<b>22,708,974</b>	<b>30,690,386</b>
町民税 現年分	61,336	0
町民税 滞繰分	4,101,787	5,817,557
固定資産税 現年分	1,178,100	1,566,500
固定資産税 滞繰分	16,043,531	22,627,129
軽自動車税 滞繰分	638,400	679,200
延滞金（固定資産税）	685,820	0
<b>国民健康保険事業特別会計</b>	<b>19,338,799</b>	<b>20,015,695</b>
国保税 現年分	70,100	35,800
国保税 滞繰分	19,230,799	19,979,895
延滞金	37,900	0
<b>後期高齢者医療特別会計</b>	<b>85,900</b>	<b>235,700</b>
保険料 滞繰分	85,900	235,700
<b>介護保険事業特別会計</b>	<b>1,919,118</b>	<b>2,211,317</b>
保険料 滞繰分	1,919,118	2,211,317
<b>合 計</b>	<b>44,052,791</b>	<b>53,153,098</b>

年度別 不納欠損額  
(単位：円)

年度	金額
23	53,153,098
22	44,052,791
21	34,258,450
20	42,988,697
19	82,873,304
18	39,491,141
計	296,817,481